

“参加者の声”

● すばらしいワークショップでした。地域の方々と行政の方々との連携もすばらしく、これからの取り組みが楽しみです。

● 吉川に住んで29年、自分は今まで何気なく吉川を見ていたことに、初めて気付く機会になりました。吉川には、文化・歴史がたくさん有ることに驚いています。また、みんなで話しているうちに、皆の意見がひとつになるという素晴らしい体験ができ、勉強になりました。どんな住みよい吉川になるのかな？



みんな仲良く
元気な地域
にしたい

地域の資源を
売り出したい

なくなった
お祭りを復活
させたい

事業を
契機に
地域づくりに活かし
たい

地域づくり ワークショップ のススメ

支援メニュー

地域診断技術の提供

地域づくりを志す地域に専門家(県職員)を派遣し、総合診断を支援

地域づくりワークショップ等開催支援

地域座談会の開催やワークショップ運営の手法を支援

行動計画書づくりの支援

計画を実践に移行するための地域行動計画づくりのノウハウを提供

実践活動への支援

実践活動(自然環境や景観の保全、食品加工等)推進のための県関係部署や関係機関の専門家を派遣

地域づくりリーダーの育成支援

継続した地域づくりを可能にするための地域リーダーの育成を支援

県内外の事例を紹介

地域の活動が活発になるための事例や交流を支援

ワークショップ のポイント

何の
ために

どんな
方法で

どう
なるの

ワークショップは、目的(何のために)、方法(どんな方法で)、得られる成果(どうなるの)を皆さんが納得して取り組むことが必要です。

ご相談窓口

山形県村山総合支庁
産業経済部農村計画課
企画担当

TEL 023-621-8388
FAX 023-621-8463
〒990-2492
山形市鉄砲町二丁目 19-68

山形県最上総合支庁
産業経済部農村計画課
企画担当

TEL 0233-29-1339
FAX 0233-23-8355
〒996-0002
新庄市金沢字大道上 2034

山形県置賜総合支庁
産業経済部農村計画課
企画担当

TEL 0238-26-6056
FAX 0238-21-6943
〒992-0012
米沢市金池七丁目 1-50

山形県庄内総合支庁
産業経済部農村計画課
企画担当

TEL 0235-66-5549
FAX 0235-66-3018
〒997-1392
三川町大字横山字袖東 19-1

山形県農林水産部農政企画課 企画担当

TEL 023-630-3315 FAX 023-630-3096 〒990-8570 山形市松波二丁目 8-1



夢へと続く 扉を開こう

山形の“元気な地域づくり”を支援する
元気な地域づくり支援プロジェクト事業
地域づくりワークショップ運営支援
集落の夢を描き、扉を開くプログラム



関心

参加

発見

理解

創造

地域づくりワークショップとは、参加者が自由に考えを出し合いながら、地域の良さを見つめたり将来について話し合ったりする活動のことです。参加者どうし、互いの提案を尊重しながら平等に話し合いを進めていきます。

子どもからお年寄りまで、地域のあるもの探しで見つけたお宝をみんなで育ていくプログラムです。地域が元気になる仕掛けがいっぱいある地域づくりワークショップに取り組んでみませんか。





大瀬物語り

製作プロジェクト



小学校閉校を目前として 地域のあり方を考える

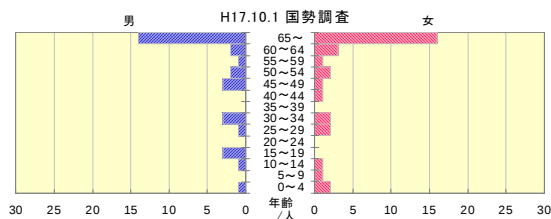
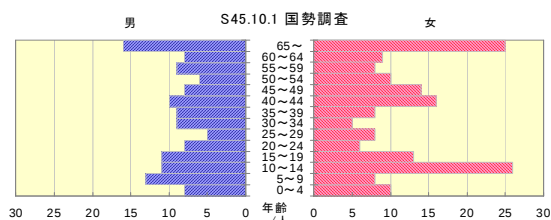


白鷹町大瀬地区は、最上川沿線にたたずむ集落で、過疎化と高齢化を克服し何とか明るい将来を展望したいという思いから町や関係団体の協力も得ながらプロ派遣事業に取り組んできました。

プロ派遣事業では、地域づくりプランナーがその地域に最適な地域づくり手法をアドバイスしながら関係者の合意を得

てプログラムを進めていきます。

大瀬地区では、地区内外の人たちが集落内を点検して「お宝マップ」を作成。それをベースに今後もここで(大瀬で)? 住み続けていくために何が大切かを考えた「ごらく構想図」を地域の成果として取りまとめました。いつ、だれが、という行動計画もできており、今後の大瀬の発展が楽しみです。



人口分布調査

年号	町名	町長
1594	安土	文禄3年
1600	徳川	慶長5年
1670	江戸	元禄年間
1693	徳川	元禄6年
1694	徳川	元禄7年
1870	明治	明治10年

地域の歴史を振り返る年表作成



活動を振り返り、大瀬の地域づくりの次のステップへとつなげていくためのまとめの会を開催。一年前とは違う輝きのある笑顔が印象的でした。

この後実施された「うまいものフェスティバル」では、地域特有の資源や伝統料理などを再発見する良い機会となりました。

これからも、まだまだ頑張大瀬(がんばろ〜ぜ)。

“大瀬物語り”の製作 ～大瀬の生き活きを語ろう～ ワークショップ

支援内容

- ① 集落の現地調査
- ② 調査結果の診断・解析支援
- ③ 地域活性化プログラム作成支援
- ④ ワークショップ開催支援
- ⑤ 行動計画づくりへの技術支援



地域づくりワークショップの成果「ごらく構想図」



「吉川の未来を創ろう!!」ワークショップ

第5号
2009.3.15

明日の吉川を創る127の提案がまとまりました！

第4回のワークショップで成果発表会を行いました (3月1日)

【今年1年の歩みを振り返って】

昨年の8月、区・公民館・婦人会・若委会・若業会・PTA等の参加者で構成し、活動を行ってきた「吉川の未来を創る会」。平成24年度から統合小学校がスタートするとき、地域の小学校がない中で、吉川の地域活動をどのように行っていけば良いのかを考えようと本会は設立されました。以来、小学校統合を一つの契機にし、単に吉川の地域行事のあり方だけを考えるのではなく、将来の吉川がどのような地域になっていくべきかを5回に渡って話し合ってきました。

話し合いは「ワークショップ」という気軽に参加者全員の思いが語られる方法で行われました。あるときは班毎に地図を見ながら、あるときは現地を実際に訪れ、また現地で撮った写真やメモを見ながら、「吉川の宝物」や「もっと良くしたい」「やってみたいこと」などを話し合ってきました。参加した方々からは「知っているようで知らない吉川があった」「吉川にも他地域に誇れるものがある」「新しい取り組みを是非実現させてみたい」という声があがりました。地域の良さを再確認と吉川の未来創りに対する気運が高まってきたようです。

3月1日に開催された第4回のワークショップでは、話し合いを重ねてきた結果、参加者から寄せられた、未来の吉川に対する「127の提案」がどのようなものであったか発表されました。

【第4回ワークショップの様子】

ワークショップでは参加した方々がどのような提案を行ってきたのか、分かりやすく大きく6つの項目に分けた形でまとめ、発表されました。6つの項目は次のとおりです。

産業を興す・収益に結びつくこと

歴史的なものの保存・宣伝、文化の伝承

お祭、イベント、レクリエーション、地域活動への参加

建物、道路などのハード面の整備

美しい風景を守る、花の植栽など美化活動、ゴミをなくす

地図、絵はがきなどを使っての情報発信

以上の項目にキャッチフレーズをつけて発表しました。詳しい内容は次のページをご覧ください。

ワークショップのまとめを発表する地域派遣職員のア達達美さん

よしかわ 未来づくり通信

よしかわ 未来づくり通信

ワークショップから生まれた127の提案の主な内容

【6つのキャッチフレーズ】

127の提案は大きく6つの項目に分けられます。そのキャッチフレーズは次のとおりです。

産業を興す・収益に結びつくこと

豊かな資源を活かす

歴史的なものの保存・宣伝、文化の伝承

次世代に引き継ぐ歴史と文化

お祭、イベント、レクリエーション、地域活動への参加

みんなで参加吉川の地域づくり

建物、道路などのハード面の整備

住み良い地域にしよう

美しい風景を守る、花の植栽など美化活動、ゴミをなくす

水と緑のある美しい吉川の里

地図、絵はがきなどを使っての情報発信

自慢しようふるさと吉川

【提案は「いつ」「だれが」するのか】

127の提案は誰かに「〇〇してほしい」ではなく、参加した方々が「〇〇したい」「〇〇していきたい」との思いの結集です。また、提案毎に「いつするのか(優先順位)」「だれがするのか(役割分担・主体)」も考えています。6つのキャッチフレーズに整理された127の提案の主な内容は下記の通り記載しましたので、ご覧ください。

1 豊かな資源を活かす 提案数34件

小項目と 提案された数 ()内が数	提案の主な内容	優先順位		役割分担・主体				
		あす すべ	2 3 年	町 民	郷 土 民 団 体	地 域	地 域 と 行 政	行 政
今ある資源を活かす(4)	肩鉋ハウスを使った座に地の農作物を栽培する 区(山(伐採地))をワラビ園にしたら良い	○			○			
月山まんま工場を活かす(4)	月山まんまの工場で吉川の遊売所を開き農産物売る 遊売所に種本を切ってキノコ栽培し売る(山の更新)	○	○		○			
小学校を利用する(10)	小学校で飲み屋をやる 小学校を漬物加工食品製造施設にする			○			○	
山を利用する(5)	里山の橋を見過し間伐材の手入れして炭焼きする 環境板で切った木を利用して地域のプレゼントにする	○	○	○		○		
トラヤウインとの連携(5)	ぶどう畑で作ったぶどうをトラヤウインでワインにする ワイナリーでワインと地元食材の楽しめるレストラン		○	○			○	
地域産業をPRする(6)	西川牛の大きな看板を立てたらよい 山形97号と月山まんまの地域として全国にPRする	○		○			○	○

よしかわ 未来づくり通信